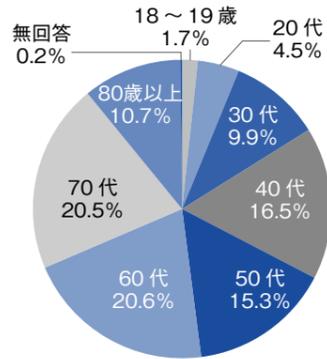


# 広報広聴制度に関するアンケート 調査結果をお伝えします

市では広報広聴制度の一層の充実に向け、市民の皆さまの意識やご意見などを把握するため、昨年度アンケート調査を実施しました。

## 調査概要

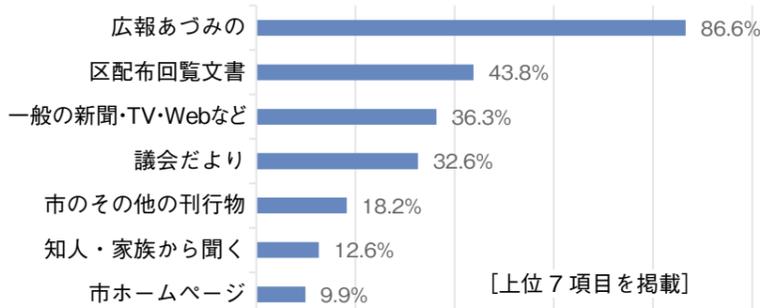
- 対象 満18歳以上の市民から3,000人を無作為抽出
- 回収結果 回収票数：1,089 回収率：36.3%  
男女比：男性が43.6%、女性が56.0%（無回答0.4%）  
年代比：右図のとおり



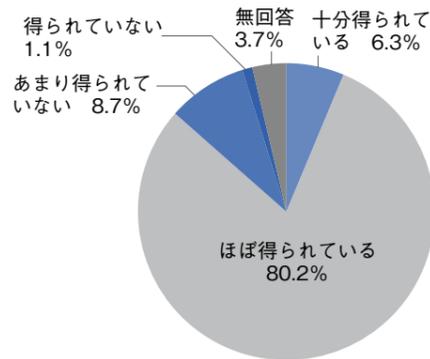
## アンケート内容と結果

※複数回答では合計は100%になりません。

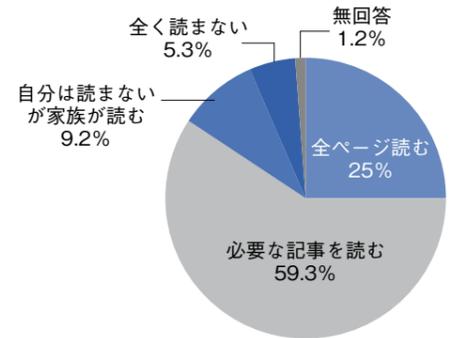
### Q. 市の情報の入手先は？（複数選択式）



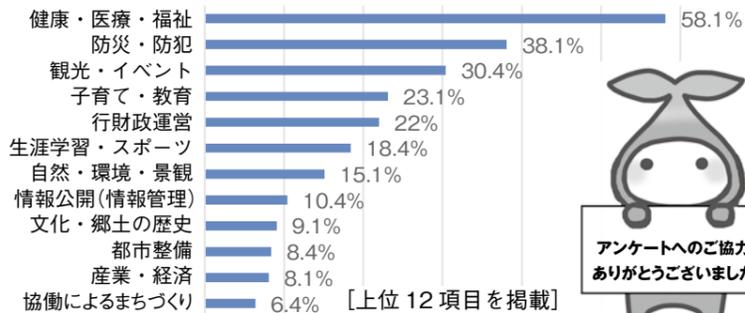
### Q. 広報あづみのから市政情報が得られているか？



### Q. 広報あづみのをどれくらい読んでいるか？



### Q. 充実してほしい広報分野（複数選択式）



## すべての住民の皆さまへ大切な情報をお届けするために

情報の入手方法では、広報紙や区配布回覧文書、議会だよりが上位となりました。また、市ホームページの利用度は「ほとんど利用しない」が62.3%を占め、その理由は「パソコンがないなどホームページを見ることができない」が39.8%と最も高く、次いで「必要な情報は広報紙などの印刷物から得られている」が31.6%となり、大切な情報は皆さまの手に届く形で、目にしやすい紙媒体が求められていることを再確認する結果となりました。また、ホームページ利用者は「手続きを調べる」ために利用するという回答が60.7%となり、広報紙とは違った役割が求められていることを改めて認識しました。

これからも広報紙を基本として、いただいたご意見を参考に紙面の工夫・広報媒体の検討を行い、より多くの皆さまに必要な情報を届けていきたいと考えています。

今回のアンケート調査結果は、市ホームページまたは秘書広報課にてご覧いただけます。

☎秘書広報課（☎71・2400 FAX71・5000）

## 基本理念

多様化する市民の「学び」に応える  
図書館を目指します。  
「本と人、人と人との出会いの広場」と  
なる図書館を目指します。

## 基本方針

- 1 市民への新鮮な資料や最新の情報の提供
- 2 さまざまな「学び」の場としての図書館サービスの充実
- 3 「地域の教育力」を高める活動の推進
- 4 図書館の利用に障がいのある方々の障がいの除去
- 5 本市の歴史と文化の継承
- 6 市民の調査・研究の支援の強化
- 7 計画の推進

# 知と心がみたまされる 図書館を目指して

## 第2次安曇野市図書館基本計画を策定

図書館基本計画は、市が目指す図書館の姿を明らかにし、その実現に向けた施策をまとめたものです。平成39年度（2027年）までの計画を策定しました。

## 図書館が目指す姿

上記の基本理念を掲げ、市民が生涯学習を進める上で、質の高い情報提供ができる学習・情報・文化センターとしての充実を図ります。また、子どもから高齢者まで本と触れ合う機会を増やすとともに市民と市民が本を通して出会う機会の充実を図ります。

## 例えば、何をやるの？

- 計画では、この理念を実現するために、32項目の施策を盛り込みました。例えば、次のような取り組みを進めます。
  - 図書館利用が少ない世代（10～30代）向け資料の充実
  - 英語のおはなし会などの開催
  - 自主的な読書活動を推進するため「子ども読書活動推進計画（仮称）」の策定
  - ホームページやツイッター、広報紙などの媒体による情報発信
- この他、計画の詳細は市ホームページ、各図書館でご覧いただけます。

☎中央図書館（☎84・0111 FAX84・0116）

## 蔵書数の現状と目標は？

各地域の図書館の蔵書数の総計は約39万冊です。市民への新鮮な資料や最新情報の提供を目指し、平成39年度には42万2千冊の蔵書数を目標とします。また、市の歴史と文化を継承し後世に伝えるために郷土資料を網羅的に収集し、3万8千冊の蔵書数を目標とします。

### 蔵書数と目標値

指標	現状値 (平成28(2016)年度)	目標値 (平成39(2027)年度)
公共図書館蔵書数(点)	396,562	422,000

### 郷土資料の蔵書数と目標値

指標	現状値 (平成28(2016)年度)	目標値 (平成39(2027)年度)
郷土資料蔵書数(点)	29,950	38,000